

HOT

コミュニケーション

乗馬を身近に体験



「ふれ・スポ・とうべつ」では、町内の石狩ホーストレックを会場に乗馬の体験会を実施しました。

参加者は6名。3回シリーズでこの日は手綱を持ち、馬を操る技術を覚えました。100mのコースを周回するうち、馬も乗り手も徐々に慣れて、「馬ってかわいい！」と乗馬の楽しさを味わっていました。次回は9月4日実施予定。

(7月2日)

吉兆！白いすずめ



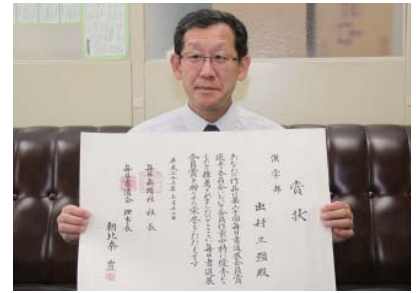
全身が白色のすずめが対雁の高橋隆雄さん宅で見つかりました。

春先に敷地内の納屋に設置している巣箱にすずめのつがいを発見、その中にいた1羽だけ真っ白いヒナが6月初旬から、庭先のバードテーブルに置かれたくず米をついばみに来ています。

札幌円山動物園の飼育員によれば、色素の欠乏による白変固体の種類とみられ、非常に珍しいといえます。人には一番なじみのある鳥でもありますが、白いすずめは縁起のいいものとされ、天皇に献上された記録もあるそうです。

(6月24日)

毎日書道展で最高賞！



昨年6月号「現代を生きる」で紹介された出村好孝さん(雅号・三疆 当別中学校教頭)の作品が毎日書道展において、最高賞の「会員賞」に選ばれました。

同書道展は内容、規模ともに国内最大といわれるもので、3万5千点の応募があり、その中でも選ばれて会員に登録されている2,651人の中から全国で26人の受賞です。表彰式は12日東京で行われました。

作品は「崇徳廣業」の4文字。「これからの作品は責任が重くなります。」と喜んでいました。

(7月15日)

広 告

当別町元助役、谷本辰美氏が北海道町村会常務理事に



平成13年9月から平成16年3月まで町助役を務められ、町村合併問題や財政再構築に多大な尽力をいただいた谷本辰美氏が、7月1日付で北海道町村会の常務理事に就任しました。

北海道町村会は、全町村144が加盟する団体で、町村行政の円滑な運営を目的とした政務活動をはじめ、政策情報の提供や町村から寄せられる法務・法律の相談、指導業務を展開しています。

先日、北海道町村会の総務・建

設常任委員長である泉亭当別町長が谷本常務を表敬訪問し、少子高齢化社会における地域コミュニティのあり方などについて懇談しましたが、谷本常務からは「基礎自治体である町村は常に誇りを持ち、住民意識の代弁者である議会は、町の将来のための「建設的で有意義な議論」が必要です。当別町にはおおいに期待しています。」と話されていました。(7月12日)



広 告